



地域課題の解決に向けた取組

渡島・檜山地域の低コスト・軽労化への取組

檜山森林管理署

はじめに

檜山森林管理署は、渡島半島の南西部に位置する2市9町を管轄しています。

管内は、渡島半島特有の急峻な地形であるものの、スギ・ヒバ・ブナなどの温暖な気候を好む樹種の適地であり、スギの植栽が積極的にに行われるなど道南ならではの特徴を有しています。

地域の課題

管内の民有林は、戦後植栽された人工林が充実期を迎えており、今後主伐・再造林の大幅な増加が見込まれています。



民有林の樹種別面積

一方、森林整備のうち、造林事業を担う林業労働者は年々高齢化と減少が進み、各地で林業労働力確保に向

けた様々な方策が講じられています。

当署では、これらの地域が抱える課題解決に向け、様々な提案を行っています。

具体的な取組

課題の解決にあたっては、現地検討会などを通じて、低コスト・軽労化に資する技術等、地域に普及させる取り組みを進めています。

○天然力の活用と新たな地拵方法の提案

天然力を活用し、更新を促す「地表処理」や、下刈作業の省略を目的とした新たな地拵である「盛土地拵」について、現地検討会などを通じ、地域に紹介しています。

特に「盛土地拵」は、林地の土壌を畑の畝のように盛り上げ、植生高より高い位置に植栽することで下刈を省略する地拵で、下刈を実施せず3年間経過した現在も、植栽した苗木は枯死などもなく順調に生育しており、有効な方法として期待されています。

○コンテナ苗普及への取組

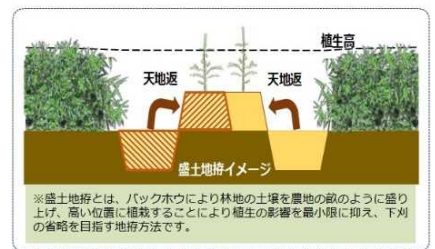
コンテナ苗は、長い植付



コンテナ苗現地検討会

可能期間、活着率の高さ、植付作業の軽減など、大きなメリットがあるほか、生分解性コンテナや緩効性肥料などの新たな技術の導入に加えて、苗木価格の抑制など活用に向けた課題が大幅に改善されたことから、積極的な普及に繋げる取り組みを進めています。

盛土地拵イメージ図



○下刈作業軽減への取組

下刈は、炎天下での過酷な作業であり、作業者の負担軽減が求められています。

「高足刈」は、林地の状況に依り、高い位置での刈払いも行えるため、コスト削減効果と作業時間の短縮が見込まれることから、地域林業関係者の皆様を招き、現地検討会を開催、導入に向け地域の意見をお聞きしました。

今後は、体系化を目指す取り組みを進めていきます。



下刈（高足刈）現地検討会

今後の取組

林業の成長産業化を進めるためには、低コスト・軽労化の取り組みは欠かせません。

今後も地域課題の解決に向け、積極的な情報発信に努めていきます。